



令和7年 10月 1日 修道保育所

最近朝夕が涼しくなり秋の気配を感じる頃ですが、日中の陽射しはまだ夏のように衣替えるのはもう少し先のようです。

先日、修道保育所創立時からの総合遊具の経年劣化が進み安全確保の為、シンプルですがとっても素敵な遊具を新しく設置しました。実はこの日、たくさんの出来事がありました。修道地域にこども園あさひの年長児が来訪する機会に、保育所にも立寄ってくれました。あさひには行くことはありますが訪問は初めてで、自分達の遊びのコーナーや川で拾ってきた流木やリバーグラスなどを見せてもらいました。突然の為時間があまりなく「また来てね」の約束をしてお別れしました。その後ALTがあり、ピーター先生をお迎えして『初めまして』から勉強をしました。背がとても高くて日本語と英語を交えながら楽しいお話で交流し、ますます英語を身近に感じていました。朝から『初めて尽くし』の充実した一日を過ごしました。

さて、園外保育ですが 加計高校の保育専科コースの生徒やこども園とごうち年長児と一緒に『三段峡散策』や『井仁の棚田』に行きました。『もりみん山のこども園』の私達は自然に親しみ、『安芸太田町のはっけん』をいっぱい見つけ、自然の生態に驚きや喜びを感じました。そして手をつなぎ笑い合える仲間との時間を共有しました。いつもと違う一日をととても意義に感じていました。

自然保育を通して、人や友達とのふれあい・地域との交流、自然とのふれ愛を大切にする生活を経験しているところです。『おむすび』で『自分の命のむすび＝食べる喜び・食の大切さ』も体験しています。

今月も散歩や外遊びを計画しています。雨の日も外で遊ぶ楽しさがあって自然を満喫したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



日	曜日	
2	木	歯科検診・フッ素塗布 河野歯科
6	月	お月見会
7	火	身体計測 やまびこ号
8	水	おはなし会 9:30~10:00
10	金	検尿容器配布
14	火	教育委員訪問 9:30~10:15
15	水	秋のおむすび散歩 (詳細は別途通知)
16	木	検尿提出 (日にちを変更しました)
20	月	内科検診 12:30~林クリニック
21	火	避難訓練 自衛消防ドローン
22	水	視力聴力検査(年長児) 9:30(後日お知らせします)
29	水	遊び・学び・育つ 安芸太田っ子の集い 9:00~11:30 (詳細は別途通知)
9・23 30	木	ALT ハウラ先生 30日 ハロウィン遊び
日	曜日	11月の行事予定
22	土	生活発表会(9:00~/修道保育所)※詳細は別途通知 作品展(修道活性化センターアリーナ)



《今月の目標》

●友だちとのつながりを広げ、ルールのある遊びや、協力しながら活動を進めていく楽しさを味わう。

●木の実や木の葉、秋の自然物を使って遊ぶ楽しさを味わう。



遊具が新しくなりました

長い年月修道保育所の子ども達の笑い声と時には隅っこで泣いている姿を見守り、四季折々の景色や災害にも合いながら過ごしてきた遊具。広島県にある遊具でも1,2位を争うほどの古参の総合遊具。ここ数年、ペンキがはがれ劣化が見られ遊具の遊び方の約束も変わってきました。修道保育所にふさわしい新しい遊具にするのならば、子どもの発達を促す『雲梯』『上り棒』雨の日にも『ごっこ遊び』が発展できるよう屋根のあるコーナーと子どもに視点を充てた設計をしてもらいました。滑り台は少し高いのですが、シンプルで持続できる遊びに期待が持てそうです。

9月18日に私達だけの『落成式』を行いました。その時の園児の感想です。「リボンを切っておめでとうするって知らなかったけど何か嬉しいね。」「テレビで見たことあるよ。同じじゃね」と式を経験できたことを誇らしそうにしていました。

『みんなの遊具』を大切に使うっていく約束をしました。



歯科検診・フッ素塗布

河野歯科医師に診て頂きます。
仕上げ磨きも忘れないで下さいね。

秋のおむすび散歩

高校3年生の3名のお姉さん達と『坂根スポーツ広場』までみんなで散歩をします。1歳児も一緒に避難車や自分の足で歩くなどして参加します。
どうか晴れますように。

内科検診

16日に検尿検査の提出を忘れずに

“遊び・学び・育つ安芸太田っ子の集いについて”

- 現地集合です。
- 送付しています通知で持ってくる物、服装などを確認して時間にゆとりを持って来て下さいね。
よろしくお願いします。

おねがい

持ち物に名前を書きましょう。消えている場合もあります。確認してくださいね。

大きくなっています

はな組の2人は夏からトイレトレーニングを始めています。パンツに移行する良い季節ですが、夏風邪などの体調にも気を付けながら子ども一人ひとりの成長に合わせてすすめています。おむつ外しの始めは『言葉が出始める事』を目安としています。大人がかける言葉と子どもが発する言葉をお互いに理解することで『濡れて気持ちが悪い』『きれいになようね』『おしっこ出たよ』『トイレに行ってみよう』とつながって自立に向かいます。「もう1歳になったから」という捉え方よりも『言葉の理解』と『寄り添い』で徐々に始めていく事がスムーズな移行になります。『自分でする!』のきっかけづくりや子どもの思いを受け止め関わる大人が理解して成長につなげていきたいですね。

先日、Aくんが雨の外へ行きたそうにテラスに出ていました。「お外雨だね、いきたい?」「いく(にっこり)」「はだしていてもいいよ」と言うと手のひらと足の裏、頭で雨を確かめながら一歩ずつ園庭に出て、雨に濡れる面白さを「うわーうわー」と言い『雨』を味わいました。Bくんは別の日に雨上がりの園庭を見て外に行きたそうにしていました。「お外に行ってもいいよ」と声を掛けますと裸足で芝を『ちょんちょん』と確かめ小走りで園庭を回り、雨上がりの水たまりや砂場など「(ぬれてる)ねー」といいながら雨の感触を味わっていました。雨音や雨の感触を楽しんでいた2人の姿にもっと自然を楽しむ経験ができるように関わりたいと感じました。

9月の『楽しかったね』を紹介します。



◎井仁の棚田 どんどこ遊びのたんぼの稲刈りはすんでいました。



◎三段峡散策 前日の雨で入口から規制がかかり800mまでの散策に『はっけん』が多すぎて300mしか進みません。また次も行きたいね。



◎落成式

新しい遊具をみんなで
お祝いしたよ。



◎民生委員さんとの交流

今年もフリスビーを作ったりふれあい遊びを楽しみました。